


















分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
																								
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●	●	・「お客様のいかなるニーズにも最良のサービスでお応えすること」を使命とする旨をHPに掲載すると共に、毎年10月に経営方針発表会を開催して社員に経営計画を説明し共有している。							8	9										17	
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●	●	・運送会社として法令順守に努めており、マニュアルに基づき安全管理マネジメントシステムを運用している。 ・経営方針発表会等で法令順守の研修を実施している。																		16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●	●	・会社として公正な取引に努めており、取引先に不当な値引き等がないか経営者自らがチェックしている。										10								16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●	●	・責任者(担当役員)を任命している。 ・企業活動が社会・環境に及ぼす正と負の影響(可能性)を把握している。																			16
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●	●	・ヒサノのロゴやキャラクターを特許庁に商標登録している。							8.2	9										16	
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●	●	・個人情報保護管理規定を作成している。 ・ITコーディネーターの指導によりITインフラやセキュリティ体制を構築している。																			16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●	●	・顧客が実施するアンケート調査に積極的に協力している。 ・定期的に顧客や金融機関を訪問し意思疎通を図っている。																		16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●	●						5			8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●	●	・事業継続強化計画を経済産業省に提出し承認を得ている。 ・洪水による浸水や地震により被災した際も、事業継続に必要な設備・運転資金を十分確保できる火災・地震保険に加入している。 ・水害リスクに直面している福岡県大野城市の福岡営業所を水害リスクのない福岡県古賀市青柳地区に移転している。									9		11		13.1				16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●	●	・事業承継対策として持ち株会社を設立している。									8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●	●			1	2			5			8				12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内でも差別や人権侵害がないことを確認している。	●	●	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・差別やハラスメントの禁止を就業規則に定め、相談窓口を設置している。				4.3	5.1		8.5		10.2							16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●	●	・労働安全マネジメントシステムを運用している。 ・ストレスチェックや産業医・保健師の面談を通して、既往症の改善やメンタルヘルスの維持に取り組んでいる。			3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●	●	・顧問の社労士の指導により同一労働同一賃金の体制を構築し賃金規定も作成済み。					5.5			8.5		10.2	10.3								
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●	●	・残業時間が一目で分かる勤怠システムを構築済み。 ・人材不足を解消するため、Web求人広告や人材紹介会社を利用して積極的に社員を募集している。					5.5			8.5		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●	●	・フォークリフト等の資格取得については、会社が経費を負担し積極的に外部研修を受講している。				4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●	●	・産業医の指導に基づいて禁煙や減塩・肥満防止等に積極的に取り組んでいる。 ・健康診断、インフルエンザ予防接種、PCR検査の経費補助を行っている。				3				8											17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●	●	・雇用、教育、昇進、登用、福利厚生など、あらゆる雇用条件及び職場環境において、差別しない体制・運営を徹底している。 ・希望があれば定年後も70歳まで雇用するよう取り組んでいる。				4.4	5.1			8.5		10.2	10.3								16.7
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●	●	・ウェブ会議や社内の換気を実施して。 ・PCR検査の経費補助を行っている。							3		8	9.1		11	12						
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●	●	・事業の効率化のため、ヒサノオリジナルの受発注・配車システム(ものづくり補助金採択)や給与計算システムを開発した。 ・ITコーディネーターを顧問に迎えて計画的にDXを推進し、業務の効率化やビジネスモデルの変革に努めている。									8	9.1		11	12						
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●	●					3	4				8	9			12						

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・産業廃棄物処理運搬業者として、廃棄物や有害物質の適切な管理・処理に取り組んでいる。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・業務で使用する毎月の軽油使用量を把握するとともに、環境性能の高い(平成28年度排出ガス規制適合)新型トラックを購入し、CO2と経費削減のため燃費の向上に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・業務で使用する毎月の軽油・ガソリン・電気使用量を記録し、熊本県作成の簡易計算シートを用いて温室効果排気ガスの排出量を把握する。 ・車両の更新や増車の際は環境性能の高い(平成28年度排出ガス規制適合)新型トラックを購入し、CO2と経費削減のため燃費の向上に取り組んでいる。			2.4				7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15					
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。						6.6								14	15				
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再利用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		・コピー機でうら紙を利用している。 ・産業廃棄物処理運搬業者として資源ゴミのリサイクルを徹底している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・ポスター等で節水に関する啓発活動に取り組んでいる。			2.4			6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		・環境に配慮した製品の購入に取り組んでいる。									9.4			12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●					1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		・オフィスの植栽に取り組んでいる。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●									7.1 7.2 7.3 7.a		9.4			11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4			11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4			11.2		13.1 13.3					
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・提供するサービスの質を確保するため、定期的に顧客を訪問して意見を聞き、関係者と共有している。			3.9						9		12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・福岡県古賀市青柳地区に移転した福岡営業所を新築する際、事務所にスロープを設置し、誰もが利用しやすいよう環境整備を行っている。									9.1	10	11.7							17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1			15			
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	・コロナ禍における医療体制を支援するため、新型コロナウイルスワクチン対策に用いられる超低温冷凍庫や安全キャビネットなどの理化学機器にの保管に特化した営業倉庫を福岡県古賀市に新たに建設している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・営業日は毎朝オフィスに接する県道の掃除を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・事業継続力強化計画を経済産業省に提出し承認を得ている。 ・洪水による浸水や地震により被災した際も、事業継続に必要な設備・運転資金を十分確保できる火災・地震保険に加入している。 ・水害リスクに直面している福岡県大野城市の福岡営業所を水害リスクのない福岡県古賀市青柳地区に移転している。				4							11.5		13.1				16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●			1.5		3	4						10.2	11.5		13.1				16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1					
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	・経営者が幹部会議等でSDGsの意義について話すよう心がけている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・高校生等の求人の際、求人票等には職場体験やインターンシップの受入は可能である旨明示している。				4					8.6		10.2								17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	・対面式の企業説明会や人材紹介会社などを利用して地元の人材を積極的に採用している。 ・高校生等の求人の際、求人票等には職場体験やインターンシップの受入は可能である旨明示している。				4.4					8.5 8.6										17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15		17

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。